

あいさつ運動の好事例

赤磐市立軽部小学校

(児童数56名 教職員数15名)

つながり， 広がる， あいさつの輪

アピールポイント

この取組は、子ども同士がつながる活動である。
朝の運動を終えて、体と心がほぐれはじめた頃に行うので、自然と声が出やすくなり、笑顔にもなりやすい。

実際の様子



取組の概要

■児童の実態

朝はなかなか元気が出ず、下を向きがちだったり、受動的なあいさつをしている。教師や大人とはあいさつを交わすが、子ども同士ではあいさつをする様子があまり見受けられない。

■活動内容

毎朝、校長が校門で、月に2回、保護者が交通当番をしながら、月に1回、地域ボランティアの方々が校門であいさつ運動をしている。校内でも取組をと、代表委員会で運営委員会が中心になってあいさつ運動をすることにした。現在、火・木曜日の朝の運動後、児童玄関前で行っている。

■取組の参加メンバー

運営委員会の児童

■成果・効果

運営委員会の児童が、意識して大きな声であいさつをしようとし始めた。運営委員会の児童に並んで、一緒にあいさつ運動を始める児童も出てきている。朝、子ども同士のやりとりがあると、その後の生活が明るくなりやすい。